

「消防指令業務共同運用」に対する意見募集の結果について
いただいたご意見に対する町の考え方を公表します。

実施期間：平成 26 年 4 月 14 日（月）～平成 26 年 5 月 13 日（火）

意見提出：69 件（提出人数：50 名）

N0.	意見（意見の要約）	町の考え方
1	高老人になり、このシステムを早急に運用していただきたいと思います。	近年、社会情勢の進展により、複雑かつ大規模化する災害や、住民ニーズの多様化など消防業務を取り巻く環境は大きく変化しています。 横須賀市、三浦市消防指令センターの高機能な消防指令施設の共同運用は、「現場到着時間の短縮と応援出場体制の強化」、「人員の効率化」及び「整備費の低減化」などの効果が考えられ、消防体制の基盤強化が期待されることから、平成 27 年 4 月の運用開始を目指しているものです。 あらゆる災害から町民生活や財産を守り、期待と信頼により応えられるよう、このシステムを最大限に活用し、町民一人ひとりの安全・安心の確保に取り組んでまいります。
2	消防指令業務共同化により、消防救急救助の早急対応を期待しております。最新システムにより住民を守ってください。	N0. 1 と同様です。
3	日進月歩で通信機器が進歩しています。早く、町民のため高機能な消防指令システムで守ってください。	N0. 1 と同様です。
4	1 日でも早く進めていただきたく思いますのでよろしくお願ひ申し上げます。	N0. 1 と同様です。
5	どんどんすすめてください。	N0. 1 と同様です。
6	早く進めてください。住民の為に良いシステムなのでお願いします。	N0. 1 と同様です。
7	すぐくすばらしいシステムなので、早く運用出来るよう、宜しく御願ひいたします。	N0. 1 と同様です。

NO.	意見（意見の要約）	町の考え方
8	賛成です。出来るだけ早い時期の導入を期待します。	NO. 1 と同様です。
9	通信システムのレベルは高いもので、葉山町にとって現状で選択できる最良のものであると思います。 残念なのは、逗子市が同じシステムに参加しないことです。が検討、協議を重ねた結果であるという説明もあり、仕方ないものと思います。 とても良いものだと思いますので、このシステムを導入して効率的に運用できる消防体制を、早期に構築していただき町民が守られているという実感を持てるようにしていただきたいと思います。	NO. 1 と同様です。
10	命の大切さを考えた良い取り組みであると感じました。 費用がかかっても良いと思うが、費用も安いのになぜもっと早く実施しなかったのでしょうか？	横須賀市、三浦市との消防指令業務の共同運用については、消防体制の効率化、基盤強化及び財政的な効果など、多角的かつ総合的に検討を重ねたもので、平成 27 年 4 月からの運用開始が最善であるとの判断から実施するものです。
11	葉山の消防は小規模で多少不安があったが、大きな市と共同で行う事で応援体制が強化されることは安心感が増すことで大変良いと思う。	NO. 1 と同様です。
12	効率化施策は非常に重要であり、今後更に推進する事を願う。町税を有効に使用してください。	NO. 1 と同様です。
13	消防、救急の出動時間が 1 分 1 秒でも短縮される今回の指令業務共同運用は町民の悲願であり、大いに共感するものであり、80 を過ぎた両親を持つ身としても大いに期待します。	NO. 1 と同様です。
14	私達住民は、消防車、救急車が早く到着してくれることが一番です。お話を聞いて、横須賀、三浦地区のシステムを使用できることは良いことと思いました。なるべく早い導入を希望します。	NO. 1 と同様です。

NO.	意見（意見の要約）	町の考え方
15	1分1秒でも早い緊急車両の出動を望みます。その為の共同運用である事を説明していただけたので安心しました。	NO. 1 と同様です。
16	今回の新システム導入は、明日からでも始めてもらいたい位の案件だと思います。たとえコストが掛かったとしても良いのではと思う位です。 消防の方が1分1秒を短縮する訓練をされていると思いますが、訓練以外で時間短縮出来るのであればこれ程良いものはないと思います。	NO. 1 と同様です。
17	(1) 葉山町民が不利にならないようなシステムであれば多に進めてもらいたい。	(1) NO. 1 と同様です。
	(2) 葉山町長の独断で進められていると聞いているが、実際のところはどうか？	(2) NO.10 と同様です。
18	どんどん葉山町を住み良くしてください。	NO. 1 と同様です。
19	基本的には広域について賛成 システム整備の運用試算についてH26年度からの20年間となっているが、途中のシステム改訂、レベルアップには触れていないが、そこは説明の要ありと思います。	共同運用実施後も、日進月歩による最新の機器の検討を行い、町民の安全・安心を最善に考えたシステムの構築に努めていきます。
20	消防司令業務共同運用の説明会を聞きました。 消防広域化につながることや逗子市との応援協定へ危惧があるようですが、横須賀市・三浦市との協議会方式による最新消防システムへの参画に魅力を感じました。 葉山のような小さな町では隣接地域と協力し合うには当然、運用、財政面と効果に課題がありますが、島国根性を正	NO. 1 と同様です。

NO.	意見（意見の要約）	町の考え方
	し隣接地域と協力できる最良の結論を、私達が選び信頼する議会が出すことを望みます。 説明会では、口で火を消すより現場で活動されている方々の真摯な意見に期待を持ちました。	
21	木古庭地区は、横須賀市に近いので、今回の共同運用で、今より応援が早くなることに安心感が増しております。 一日でも早い実現を期待しております。	共同運用は、2市1町一体となった指令体制となることから、両市町の災害発生状況や消防車、救急車等の出場状況等の情報を一元管理することができ、応援要請時間が短縮されるとともに、市境で発生した火災では初期包囲体勢の構築が可能となるなど、消防相互応援協定に基づく運用が迅速に行われることから、応援体制がさらに強化され、消防力の向上が期待されます。
22	警察の 110 番通報は、神奈川県内どこからかけても横浜市の 110 番センターに入ります。この指令共同運用は、横須賀市、三浦市、葉山町からの 119 番通報を横須賀市で受け付けると言う事と考えます。最新で高機能な機器、そして専門的な方々が私達の「命の助け」に対処してくれる。大変期待しております。早くによりしくお願い致します。	NO.1 と同様です。
23	木古庭や上山口は、消防署から遠く、目印となる建物も少なく、冷静に自分の住所などが言えない事を考えると不安であります。この共同運用により、葉山町全体の出場時間が短縮される事に大変期待しております。1 日でも早くお願いします。	NO.21 と同様です。
24	木古庭や上山口は消防署から離れていて心配であったが、横須賀市、三浦市とで既に実績のある機器を使用し、葉山消防の出場時間が短縮できることは、素晴らしい取り組みである。 逗子市や横須賀市からの応援出場も結果的に短縮できることは、木古庭、上山口のみならず、葉山町全体においてこの	NO.21 と同様です。

NO.	意見（意見の要約）	町の考え方
	上ない安心感が増すと考える。 早期の導入を期待します。	
25	消防指令業務の共同運用により、救急車の到着時間が短縮出来る事で、救命率の向上につながるものと思いますので、早期の導入を望みます。	NO. 1 と同様です。
26	パブリックコメント（消防指令業務共同運用について）を読みました。葉山町の緊急車両は基本的には町内でのみの出動と云う事。指令業務のみが共同になる事。運用費、整備費等の経費が軽減できる事。 新システム導入により電話通報からの位置情報通知、車載端末への情報送信等のメリットからも多いと思います。 消防指令業務共同運用に期待します。	NO. 1 と同様です。
27	火災等発生で一番大切なのはいかに現地に早く到着すると思います。新しいシステムで導入される、携帯電話からの発信地点の特定は、かなりスピードアップが期待できると思います。気が動転していてもうまく話せない通報者の方も多数いらっしゃるでしょうし安心です。また葉山単独でこのシステムを導入するより低コストという点でも評価できます。現状は消防職員も少ないですし、彼らの負担は極力軽減して、火事場でその体力を十分に発揮していただけたらと思います。広域化という面でも、今後起こるであろう大規模震災での横の連携は重要で、葉山よりはるかに設備の整った横須賀と組むのは安心だと思います。以上を踏まえて、消防指令業務共同運用を是非、推し進めて早期に運用の開始をお願いしたいと考えます。	NO. 1 と同様です。

NO.	意見（意見の要約）	町の考え方
28	今後予想される、大地震等に備える為、特に津波対策には近隣市との連携が、絶対に必要不可欠だと思います。 その観点からも、是非とも進めて戴きたいです。	NO.21 と同様です。
29	(1) 整備費用、費用効果が見込めるなら指令共同化のメリットがあり良いと思います。	(1)(2) NO. 1 と同様です。
	(2) 災害等(地震)が騒がれていますので共同化により災害が同時多発した場合に応援体制を容易にできるとありましたので効果はあると思います。	
	(3) 現場到着(火災・救急)時間の短縮もあげられています。救命率も向上するのではないのでしょうか。	
30	指令業務共同運用に賛成します。 パブリックコメントを拝読させて頂きましたが、指令業務共同運用することで特段、葉山町の消防力が低下するようには考えられません。 むしろ、現場到着時間の短縮、及び相互の応援体制の充実により初期消火の可能性が高まると思われます。特に、近年建設されたマンション等ビルには、葉山町にはない梯子車の応援時間の短縮が期待され、町民の生命及び財産を守る可能性が高まるのではないのでしょうか。	NO. 1 と同様です。
31	電波法の改正により、アナログからデジタル方式に移行しなければならないということで施設の整備運用費など多額な費用が予測されます。 さらに現に葉山町指令装置には固定電話・携帯電話からの119番通報場所を特定できないという致命的な欠点があります。果たして通報者が冷静に的確な状況場所等を報告できるのでしょうか。最近ではハイキングコースでの遭難者が急増していると聞きます。共同化になればすべて特定することができます。	横須賀市・三浦市消防指令センターに設置されている高機能指令装置は、統合型位置情報通知システムにより通報と同時に固定電話からの発信地の特定のほか、携帯電話からの119番通報についても通報位置を特定できるものです。

NO.	意見（意見の要約）	町の考え方
	これからは高機能なこの装置が必須であり、共同化になれば救命率の向上、消防力の強化が期待できます。 ① 経費の削減 ② 高機能装置による消防力の強化 ③ 人員の効率化 以上のことから私は消防指令業務の共同化に賛同致します。	
32	人命救助が1分～2分でも早くなるのであれば、是非この企画を進めて下さい。	NO. 1 と同様です。
33	消防指令業務共同運用にあたり、迅速な通報であっても、正確な住所を伝えられなければ、時間を要してしまう。今回のシステムであれば通報者の位置情報が即座に分かると聞きました。このことにより、極限状態の通報者からの電話であっても出場時間の短縮となり、よって救命率の向上と火災であれば延焼危険を大幅に回避できると思います。 導入時期は平成 27 年度みたいですが、一刻も早く導入できればと思っております。どのような状況でも人命を第一に尊重しなければなりません。	NO. 1 と同様です。
34	限られた資源、予算の中で最大限の効率化を計る方法として、今回の共同運用は、良い試みだと思う。 ただ、指令を一ヶ所に集める事で、大規模な災害時に指令センターが被災した場合のバックアップが気になる。資料などにはその点の記載が無かったので、今後の紹介資料に加えて頂けると良いと思います。	指令システムの制御装置は、内部が2重化された同機能の装置を常用機・予備機の2台設置しております。常用機が完全に故障した場合でも、予備機に切替えて通常と同様の運用が行えるものです。
35	システムの2重化、またはバックアップシステムについて (1) システムが高度化すればするほど、故障やソフトのバグ、停電、落雷などにより、機能が停止する頻度が高くなります。機能停止した時、どのようなバックアップシステムが	(1) NO.34 と同様です。

NO.	意見（意見の要約）	町の考え方
	用意されているのでしょうか？ (2) しかもテロや災害で横須賀がつぶれたとき場所が違う葉山に緊急時のバックアップシステムが残っていると安心できると思います。	(2) 消防指令センターは厳正な管理と災害に強い免震構造の強固な建物内で運用しています。
36	(1) P.10 【指令システム整備・費用更新サイクル10年間での比較】 葉山町単独での整備・運用費用 $218,333 \div 10 \text{ 年} = 21,833$ 【指令システム整備・運用試算（平成26年度～20年間）】 葉山町単独での整備・運用費用 $452,407 \div 20 \text{ 年} = 22,620$ 10年の方が良い！という事を言いたいのですか？ (2) P.11 共同化のメリットは要請時間が短縮されるだけですか？今までどうして時間が掛かっていたのですか？町内の建屋に番号を付け各電話器にその番号を貼って置き、通報の時にその番号を言わせる。 グーグルの地図検索システムでこの番号を入力すると通報場所が解る。町内会毎のくくりでも良い。 (3) P.12 関係者のみの入出だから「安心」ではダメ、その関係者をどのように管理するのか？システム上で個人情報に関係者で有っても見る事が出来ない。勿論データーをコピーなども出来ない様にする事です。 (4) P.14 まずは、自分の町の「命と財産」を守ると言っているのだから、どんな事が起こっても、葉山町の事を優先にしない	(1) 指令システム整備費の費用試算については、平成26年度から20年間の運用試算を行ったものです。 指令システム更新サイクルである10年間での比較は、単独の場合と、共同化での場合の条件をそろえ比較できるものとして、参考として記載したものです。 (2) 共同運用は、「現場到着時間の短縮と応援出場体制の強化」、「人員の効率化」及び「整備費の低減化」などの効果が考えられます。 統合型位置情報通知システムにより、瞬時に119番通報場所が特定できます。 (3) 関係法令に基づき適正に管理するとともに、システム上の個人情報も厳重な管理のもとで取り扱われます。 (4) 災害発生時の情報収集等はそれぞれの市町で行い、葉山町で大規模災害が発生した場合等は、町で災害対策本部が設置されることとなります。

NO.	意見（意見の要約）	町の考え方
	ければならない。それなのに肝心な情報収集業務を他の市に置いて良いのか！	
	(5) 別表 保守管理費・通信運搬費等が、共同・単独で同じ金額なのはどのようにしてですか？ 規模が変われば、異なるはずです。又、共同の場合は分担になるのでしょうか。	(5) 共同化及び単独での整備費用の試算比較表において、平成 26 年度の保守管理費及び通信運搬費は、共同化前の費用であるため同額となっています。消防指令業務の共同運用については、平成 27 年度からの開始を予定しています。
37	火事・事故等発生の場合、一刻も早い①通報と②場所の特定が必要だが、同時に③消防・救急車の素早い現場到着によって初めて町民の生命財産を守ることが出来る。葉山町の住宅密集地域は逗子市に隣接しており、お互いの消防署も近い位置にある。横須賀市、三浦市との連携で①と②が進化しても③も同時に進化しなければ実効が上がらない。 従って、逗子市との緊密な連携態勢の構築が絶対条件であり、この点について町民が納得出来る十分な交渉とその情報公開が必要と考えます。	迅速な現場到着には、迅速な 119 番通報処理が不可欠です。 逗子市とは、今後も引き続き緊密な連携協力体制を維持していきます。
38	「横須賀市などとの消防指令業務共同運用」案に反対します。 (1) なぜ逗子市と消防指令システムの共同化をしないのか？十分説明されていない。逗子市と共同化した場合の方がメリットが一層大きい。 (2) なぜ結論を急ぐのか？決め方があまりにも拙速 (3) 見直されるべき、「横須賀市主導」の植民地的な契約 (4) 「共同化」は「広域化」につながらないか？	(1)(2) NO.10 と同様です。 (3) 協議会の組織並びに会長及び委員の選任の方法については、協議会の規約事項となっており、関係市町の議会の議決が必要です。 (4) 今回の共同化は、119 番通報の受信、出場指令、情報伝達等の消防指令業務のみを共同運用するものです。

NO.	意見（意見の要約）	町の考え方
39	他市との共同化は、ごみ問題のようなことが起こるのではないかと心配している。よくよく慎重に審議してから結論を出すべきだと思う。 特に、協議会規約があまりにも雑駁なものではないか。あまりにも、簡単に考えていないかと心配している。町民に広く知ってもらい、それから結論を出してほしい。拙速な結論は、後に大きな禍根を残すことになってはいけない。どうしても共同化ならば同規模の逗子と考えて欲しいと思う。	協議会の規約に掲げなければならない事項は、地方自治法第 252 条の 4 に定められています。 規約事項については、2 市 1 町の法制担当職員も含め慎重に協議検討したものです。 横須賀市・三浦市との消防指令業務の共同運用については、消防体制の効率化、基盤強化及び財政的な効果など、多角的かつ総合的に検討を重ねたものです。
40	葉山町と横須賀市とでは人口がちがすぎるので、葉山町の立場が弱くなり、条件が悪くなっても言えなくなるかも知れないので、消防指令業務共同運用は、慎重に考えて、急がないでほしい。逗子とだったらよいかも。	N0.10 と同様です。
41	町の将来にかかわる重大なことは、広く町民の意見を聞いてからするべきです。それができない町長ならば、町にとって有害です。反省すること。すぐバレル嘘をつくのはおやめなさい。バレた時あなたの信用をこっばみじんにするだけです。町サイドの説明は納得のいかないことばかりです。この状況では、町民として反対の活動をするしかありません。形だけのパブコメですませるつもりなら町民をナメきっていますよ。	N0.10 と同様です。
42	これまでに理解できたこと。 ・通報者の位置情報が、通報者が言わなくても分かる。 - それによって車の到達時間が短縮される。 ・救急車、消防車の GPS だが、逗子署では不要といっている。 ・今まで単独の場合は 2 人いたところが 1 人でよくなったので、余った 1 人を他にまわせる。 広域化の件ですが、「葉山のメリット・デメリットを考えて	横須賀市・三浦市消防指令センターに設置されている高機能な消防指令装置は、通報と同時に 119 番通報場所の位置情報を特定できます。 また、GPS（全地球測位システム）を活用した車両動態位置管理装置により、常時消防車両等の現在位置を把握していることから、災害地点から最も近い葉山町内の車両を出場させることが可能となり、これらの高機能なシステムにより更に現場到着時間の短縮が期

NO.	意見（意見の要約）	町の考え方
	対応」には危惧があります。「断固反対で、あらゆる手段で闘う」として欲しいのです。	待できます。 今回の共同化は、119 番通報の受信、出場指令、情報伝達等の消防指令業務のみを共同運用するものです。
43	(1) 町民の命と財産を守るための消防システムを、三浦半島サミットで横須賀市長から声をかけられたからと、主権を持つ町民への説明もせず、決定しまったのは拙速にすぎるのではないか。 (2) 20 年後にメリットがあるように資料では見えるが、平成 26 年からについては、約 35 万円程度のメリットしかない（私の試算では）。 (3) 横須賀市・三浦市消防通信指令事務協議会規約は、そのままと聞いている。葉山町にとって不利ではないか。 (4) イトーピアコミプラ跡地へ消防分署の要望が自治会から提出されている。退職した消防長から引き継ぎを受けていると思うが、いかがか？ 広域に進出と思われる消防指令業務共同運用ではなく、分署を考えるべき。	(1) NO. 1 と同様です。 (2) 慎重に費用試算を行い比較検討した結果、平成 26 年度からの 20 年間の運用試算では、共同運用によるコストメリットは 44,446 千円となっています。 (3) 協議会の規約に掲げなければならない事項は、地方自治法第 252 条の 4 に定められています。 規約事項については、2 市 1 町の法制担当職員も含め慎重に協議検討したものです。 (4) 分署の設置については、今後の検討課題とさせていただきます。
44	横須賀市との「消防指令共同化」に反対します。 葉山町民の多くは、人口、都市構造、地理的条件等々共通点の多い逗子市と日常生活で深く関わっています。協力、共同の必要が生じれば、先ず逗子市と組むことを考えるのが自然の順序ではないでしょうか？ 人口も規模もケタ違いの横須賀市との共同化は葉山が呑みこまれ自治体も自立も揺らいでしまう危険を感じます。 横須賀市と組むメリットはいろいろ挙げられていますが（町民の感じている）一番の隣人、逗子市との共同作業につ	NO.10 と同様です。

NO.	意見（意見の要約）	町の考え方
	て十二分に検討されたのでしょうか？	
45	葉山は借金まみれなので、コストパフォーマンス（費用対効果）をあらゆる案件で考慮してほしい。 葉山にとって、このたびの横須賀システムはオーバースペック機器だと思いますので、ゼロベースで見直していただきたい。 消防の火災予防活動で火事は限りなくゼロに近くなり、天災（落雷等）で出火した場合は各家庭の消火器で初期の段階で完全消化、放火については警察が防犯活動の徹底で限りなくゼロになるはずです。 以上で人災による出火は限りなくゼロになるはずです。 天災による出火の場合は通行人や野次馬が事後通報すればいいことです（例一時間後）。 なお、森戸・真名瀬地区のように住宅が密集し、冬場海風が強く、道路が極細の地帯に天災による火事が発生した場合は、横須賀から応援の消防車が来て、地上からチョロチョロ放水しても、鎮火不可能なので、瞬くまに森戸・真名瀬全域全焼となることが予想されますので、住宅密集地区は通報の速い遅いは大勢に影響なしで結果は全焼。（例：酒田市等）	消防指令業務の共同化に係る経費については、単独整備との試算を行い、慎重に比較検討しました。 横須賀市・三浦市消防指令センターに設置されている高機能な消防指令装置は、携帯電話等情報通信技術の変革に沿った緊急通報体系の多様化や、住民ニーズの変化に幅広く対応が可能なものであり、町の消防体制の基盤強化には欠かせないものと考えています。 共同運用により両市町の災害発生状況や消防車や救急車両等の出場状況等の情報を一元管理することができ、応援要請時間が短縮され、市境で発生した火災では初期包囲体勢の構築が可能となるなど、消防相互応援協定に基づく運用が迅速に行われ、応援体制がさらに強化され、消防力の向上が期待されます。
46	拙速に結論を出すのではなく、将来の葉山町をどのように描いてゆくのかという観点から、もっと時間をかけて町民の合意形成を計っていただきたい。	NO.10 と同様です。
47	基本的に今回の共同化は、人命を少しでも速く救うという目的からとられた策として賛成ですが、以下の疑問点について明示してください。	

NO.	意見（意見の要約）	町の考え方
	(1) 「共同運用」について、『消防指令業務運用について』（パブリックコメント）の説明図では、センターから市町の救急車・消防車に直に指令がいくようになっていますが、パワーポイントテキストでは、「共同運用とは、・・・管轄する消防本部へ救急車・消防車の出場指令を行うものです」とあります。（間違い？）これは、消防本部が一旦、情報を受け止めて、あらためて救急車・消防車に出場指令をするということですか？ もしそうであれば、ワンクッションあって、時間の無駄ではないですか？	(1) 消防指令センターからの出場指令は、葉山町消防本部に指令を行うと同時に、常時消防車両等の現在位置はGPS（全地球測位システム）を活用した車両動態位置管理装置により把握しており、出向中の車両等にも指令を直接行います。 町消防本部が、一旦、消防指令センターからの指令を受け付け、再度指令を行うことはありません。
	(2) 「共同化の効果」として、「人員の効率化」があげられています。葉山消防署指令室2人のうち、1名はセンター派遣ですが、もう1名はどうなりますか？指令の効率化は図られるようですが、消防全体として効率は上がりますか？消防全体の人件費としては変わらないのですか？	(2) 指令業務共同運用のメリットとして指令業務配置職員の効率配置が挙げられます。現在、指令業務配置職員は2名ですが、うち1名は消防指令センターへの派遣となり、残りの1名は、警防救急業務等、他の業務を行うことができ消防体制が充実されます。
	(3) また、葉山消防署長の管理（責任）範囲として、「指令」分野はなくなるのですか？「指令」に係る管理責任は、共同指令センター長（横須賀消防署長）が負うことになりますか？ 葉山町内からの119番通報を受けた「無線指令」に係るミスや問題が発生した場合、葉山町から共同指令センター長に対して責任は問えますか？どのような手順になりますか？	(3) 消防指令業務の共同化は、議会方式（管理執行協議会）で行います。 協議会方式は、身分の変更がなく、また権限の移動もなく、責任は関係市町による連帯責任となります。
	(4) 共同センターからの応援出場の際の要請は、「神奈川県下消防相互応援協定」に基づき出動する、とありますが、どんな協定（ポイントのみ）で、共同化後は、誰が受けて調整することになりますか？その場合、出場指令はどこか	(4) 応援協定の内容は、市町境における火災は自動的に出場し、救急の応援要請は電話等で連絡を行うこととなっており、共同運用の指令体制では、両市町の災害発生状況や消防車や救急車両等の出場状況等の情報を一元管理することができ、応援要

NO.	意見（意見の要約）	町の考え方
	ら発信されますか？	請時間が短縮されるとともに、市町境で発生した火災では初期包囲体勢の構築が可能となるなど、消防相互応援協定に基づく運用が迅速に行われることから、応援体制がさらに強化され、消防力の向上が期待されます。 共同化後は、町の 119 番通報を含めた指令情報は全て消防指令センターに集約されますので、消防指令センターで調整を行い、応援出場、応援要請も消防指令センターから行います。
48	(1) 今回、「消防本部では、消防指令業務について、消防力の基盤強化と財政面の効率化の観点から横須賀市・三浦市消防指令センターとの消防指令業務共同運用について現在検討しております。」とあるが、本年 4 月 13 日に消防本部で行われた説明会においても町民からの「広域化への伏線になるのではないか？将来、横須賀市への併合事由根拠になるのではないか？」という不安、疑念を払拭しきれなかった。原因は町長の唐突な決定にあり、行政決定に至る過程が不透明であり町民に十分な説明がなされてこなかったことにあるのではないだろうか。町民からの要望で説明会を始める対応は真摯で良かったが、先ずは町民の意見はどのようなものがあるかという問題意識を持って欲しかった。選挙で町民が町長に与えた信託は独断専行を委ねたものではない。消防司令事務の共同化は、急迫した緊急事態に迫られて長が単独で決断する性質のものではなかったはずだ。住民自治という地方自治の本旨を再確認して頂きたい。戦後民主主義の下でスタートした地方自治制度は未だ成長過程であることを自覚して行政にあたって頂きたい。	(1) NO.10 と同様です。

NO.	意見（意見の要約）	町の考え方
	(2) 消防本部からの説明では「2～3 分速く救急にあたられる、人命救助の進歩」が強調されていた。誰にとっても速いにこしたことはない。これは子供でも分かる。会場の参加者はやや煽られている印象を私は持った。では具体的に、山梨町長は就任以来、2～3 分の遅れで救命出来なかったという事例を何件報告を受けたのかお教え頂きたい。葉山町の救急活動において、病院から病院への搬送、搬送先で治療を受け帰宅或いは入院という事例の中でデジタル化が死命を制するのだろうか。受け入れ先の専門医療体制の充実、救急隊員の研修と専門習熟性は第一義的ではないだろうか。そのための投資こそ重要ではないだろうか。それでも、2～3 分のスピードアップにこだわるのであれば、搬送先の医師から「あと 2 分速く来てくれたら助けられたのに」という事例を具体的にお教え頂きたい。	(2) 「神奈川県傷病者の搬送及び受入れの実施基準」に基づき、三浦半島メディカルコントロール協議会等において医療機関と消防機関の連携を強化し、受入医療機関の選定困難事案の解消、適切な搬送及び受入体制等の構築をされています。 また、救急救命士の処置範囲の拡大に伴う教育、救急隊員の育成等を計画的に行っています。 救命率の向上には傷病者の症状の他に、その場に居合わせた人の応急処置、救急隊・医療機関の救命処置等が迅速かつ連鎖することが必要と考えています。119 番通報処理時間の短縮により、救急隊の現場到着時間の短縮が図られることは、救命率の向上につながるものと考えています。
49	運用（今回）は反対です。なぜなら、葉山町民の生活圏は逗子市だからです。ご存知のように、買い物、病院、通勤、通学、観劇、図書館など日常生活に便利なことから自然と形成されたのが生活圏です。この運用案は総務省の指示に見えます。共同運用をてこにして、三浦、横須賀との合併のルールが敷かれているように見えます。財政の弱い自治体を減らしたい下心でしょう。しかし、同省の下心は空論です。生活圏を考えるベースにしていないからです。どうか、政治的配慮をして我々が生活圏のさらなる充実の施策を望みます。	NO. 1 と同様です。 なお、逗子市とは今後も緊密な連携協力体制を維持していきます。
50	(1) 他の選択肢の検討が不十分である。 2013 年において、活動波デジタル化の共同検討にあわせて、指令業務においても逗子市と共同化できないか検討を重ねてきたが、結果、お互いのメリットを見いだせないとして、見送りになったと聞く。	(1) 現行の指令システムは、平成 21 年度に前システムを部分更新して整備したものです。平成 26 年 7 月のリース契約完了後さらに 5 年の使用も可能ですが、当該機器は部分更新されたものであることから、継続して使用した場合は、構成する機器に改修する必要性が考えられます。

NO.	意見（意見の要約）	町の考え方
	この学習効果は、横須賀市・三浦市との消防指令業務共同運用の検討にも役立ったと思われる。 しかし、この学習がもう一つの「効果」をもたらすべきことを見落としている。 それは、葉山町単独で、消防指令施設をⅢ型の機能に近づける場合のシュミレーションができることである。 すなわち、現葉山の施設（Ⅰ型）に「発信地通報システム」（200万円）、「位置情報通知システム」（1,500万円）、「車両端末への情報送信」（2,000万円）の3つのオプションを付け加えた場合である。恐らく計 4,000 万円に保守管理費が加わる。 実は単独のメリットはもうひとつある。 現Ⅰ型設備は、今年（H26 年 7 月）リース契約が満了し、この設備はあと 10 年（H36 年度）位、使いつづけることができるはずだ。 葉山町は耐用年数が過ぎた設備を使いつづけることが得意なはずだから（ごみ焼却炉を見よ）。 あとは、応援要請時間の短縮化と人員の効率化であろう。 あと 10 年間は葉山単独で、上記オプションのみ付け加えるべきと主張する。	これらを踏まえ、横須賀市、三浦市との消防指令業務の共同運用については、消防体制の効率化、基盤強化及び財政的な効果など、多角的かつ総合的に検討を重ねたもので、平成 27 年 4 月からの運用開始が最善であるとの判断から実施するものです。
	(2) 葉山町は広域化への路線に乗らない構えを持ち続けるべきだ。 平成 26 年度横須賀市・三浦市消防指令センター共同整備事業に対する県の補助金は「将来の広域化に向けた消防指令センター等共同整備事業」とあり、検討事項の「協議会参加」は、ただちに「広域化」ではないものの、将来は「広域化」が浮上することは間違いない。	(2) 今回の共同化は、119 番通報の受信、出場指令、情報伝達等の消防指令業務のみを共同運用するものです。

NO.	意見（意見の要約）	町の考え方
	そうなることを見越して、仮に横須賀市・三浦市が広域化するとしても、葉山町は広域化路線には参加しないでい続けることについて、今から備えておかなければならない。 たとえば、葉山町は、広域には参加しないが、共同指令センター・設備・事務が継続して使えることなど、裏付けを注意深く押さえておく必要がある。	